

7 月 10 日 ソロモン諸島の地震

7 月 18 日 サンタクルーズ諸島の地震

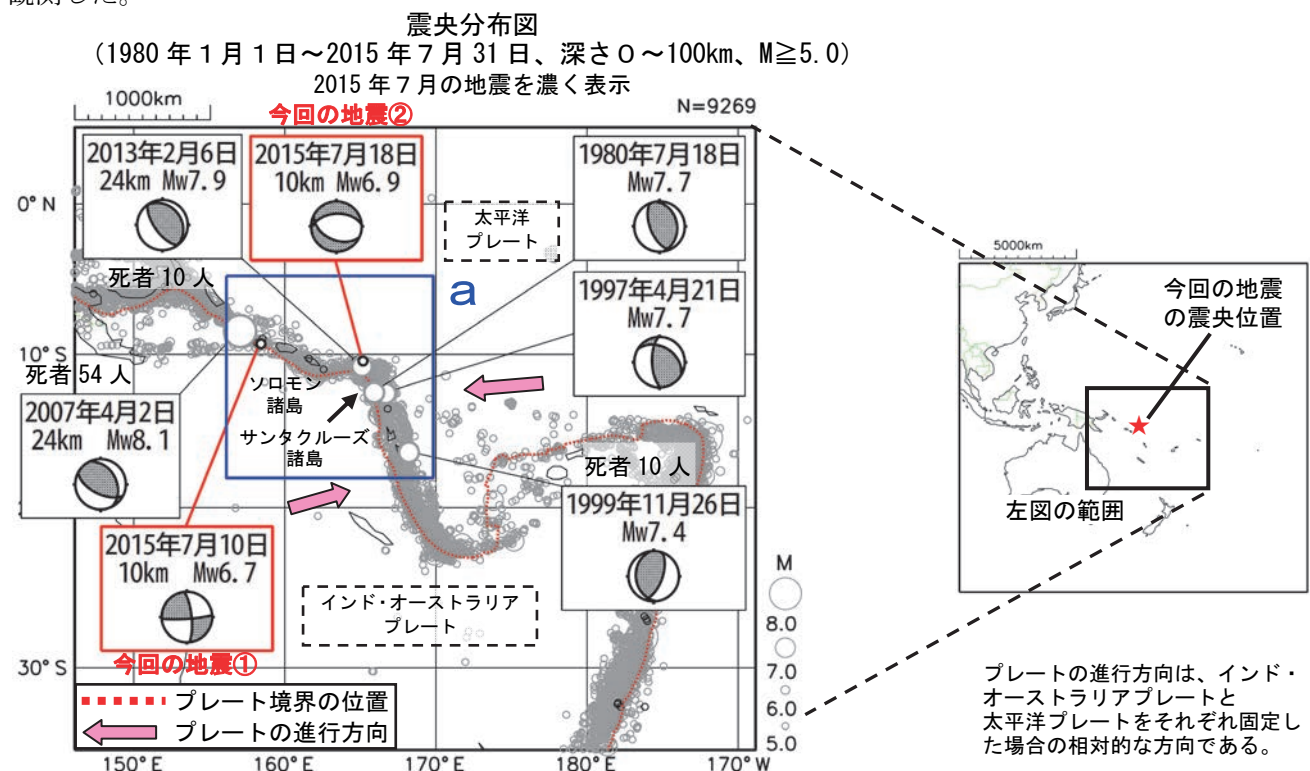
2015 年 7 月 10 日 13 時 12 分（日本時間、以下同じ）に、ソロモン諸島の深さ 10km で Mw6.7 の地震①が発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北東－南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震について、同日 13 時 40 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

また、2015 年 7 月 18 日 11 時 27 分に、サンタクルーズ諸島の深さ 10km で Mw6.9 の地震②が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震により、ソロモン諸島のラタで 9cm などの津波が観測された。

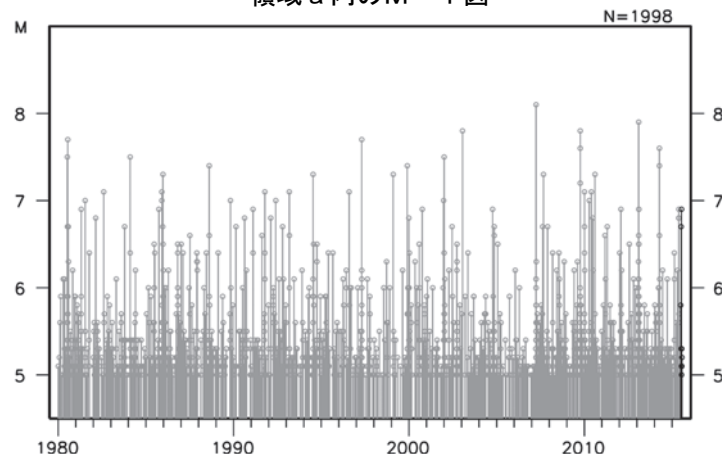
気象庁は、この地震について、同日 12 時 04 分（日本への津波の有無について調査中）と 12 時 35 分（日本への津波の影響なし）に遠地地震に関する情報を発表した。

1980 年以降の活動を見ると、今回の地震①、②の震央周辺（領域 a）では、M7.5 を超える地震が時々発生している。2013 年 2 月 6 日には Mw7.9 の地震が発生し、ソロモン諸島のラタで 104cm などの津波を観測した。日本国内でも、北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。



領域 a 内において、今回の地震①、②、M7.9 以上の地震、及び死者 10 人以上の地震に吹き出しを付けた。

領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2009 年以降の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2015 年 8 月 3 日現在）。2013 年 2 月 6 日の地震の被害は USGS による。その他の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（2015 年 8 月 6 日現在）。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.